# たけうまファンド

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 設定日 | ：2011年11月 | 償還日 | ：死ぬまで | 決算日 | ：原則、毎月末 |
| 収益分配 | ：ありません | 基準価額 | ：算出対象外 | 純資産総額 | ：非公開 |

※レポートのグラフ、数値等は過去のものであり将来の運用成果等を約束するものではありません。
※レポートでは公開できない数値等が多数存在するため、目盛り等一部の表示を省略させていただいております。

## 運用実績

※運用開始時の資産を100としたグラフとなっています。
※グラフの歯抜け期間は当ファンド運用担当者のメンタルが死んでいた期間につき運用実績の記録ありません。

＜資産構成比率＞

| | |
|---|---|
| 日本株式 | 67.2% |
| 海外株式 | 23.6% |
| 現金（円・$） | 9.2% |

※比率は対純資産総額比です。

＜純資産総額騰落の要因分析＞

| | |
|---|---|
| 日本株式 | +7.0% |
| 海外株式 | +15.3% |
| 現金（円・$） | -7.1% |

※上記の要因分析は当月中の売買を考慮せず（できない）、前月末と当月末の時価総額の差を算出してます。

※上記の要因分析は、実際の純資産総額の変動を正確に説明するものではありません。各市場と当ファンドの運用状況の傾向を知るための参考地としてご覧ください。

＜分配金実績＞

| 設定来 |
|---|
| 0円 |

※永遠のゼロ。成長ないので分配なし。

＜純資産総額の騰落率＞

| 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヵ月 | 1年 | 年初来 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7.3% | -0.9% | 6.6% | 12.6% | 7.3% | 1548.73% |

※証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。

**株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。**

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、今後変わる可能性があります。

## たけうまファンド　日本株式／海外株式

＜資産構成比率＞

| 資産 | 比率 |
|---|---|
| 株式 | 90.8% |
| 現金 | 9.2% |

＜国・地域別組入比率＞

| 国・地域名 | 比率 |
|---|---|
| 日本 | 67.2% |
| アメリカ | 23.6% |
| | |
| | |
| | |

＜業種別組入比率＞

| 業種 | 比率 |
|---|---|
| 資本財・サービス | 33.25% |
| 一般消費財・サービス | 32.60% |
| 情報技術 | 9.30% |
| 金融 | 6.15% |
| | |

＜組入上位10銘柄＞

| | 銘柄名 | 通貨 | 国・地域名 | 業種 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ウルトラファブリックスHD<br>4235 | 日本円 | 日本 | 一般消費財・サービス | 15.16% |
| 2 | ServiceNow, Inc.<br>NOW | 米ドル | アメリカ | 情報技術 | 9.30% |
| 3 | シルバーライフ<br>9262 | 日本円 | 日本 | 一般消費財・サービス | 9.29% |
| 4 | シンメンテHD<br>6086 | 日本円 | 日本 | 資本財・サービス | 8.97% |
| 5 | Tapestry, Inc.<br>TPR | 米ドル | アメリカ | 一般消費財・サービス | 8.15% |
| 6 | オカダアイヨン<br>6294 | 日本円 | 日本 | 資本財・サービス | 7.24% |
| 7 | 日揮<br>1963 | 日本円 | 日本 | 資本財・サービス | 6.98% |
| 8 | オプテックス<br>6914 | 日本円 | 日本 | 資本財・サービス | 6.56% |
| 9 | MSCI Inc.<br>MSCI | 米ドル | アメリカ | 金融 | 6.15% |
| 10 | ベネフィット・ワン<br>2412 | 日本円 | 日本 | 資本財・サービス | 3.51% |

＜規模別構成比率＞

| 時価総額 | 比率 |
|---|---|
| 1兆円以上 | 23.59% |
| 5000億～1兆円未満 | 0% |
| 1000億～5000億円未満 | 14.47% |
| 1,000億円未満 | 52.75% |

**株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。**

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。

## 運　用　実　績

1月期の当ファンドは一桁台後半の資産成長を達成することができ、2023年は比較的堅調な出だしをきることができました。今年も一年いい年になることを祈念しています。

年が明けて1月の日本株式市場は「銀行と鉄でなければ株に非ず」という相場だったかなと思います。今回の相場でも新ためて自覚しましたが、当ファンドの運用担当者はこの業績の裏付けがない相場のモメンタムに乗るというのがとても苦手です。下げたらすぐビビッて売ってしまうからです。1月も懲りずに信用枠でのデイおよびスイングトレードをやりましたが、収益貢献があったのは決算後に乗った銘柄だけで銀行と鉄はマイナスに終わっています。苦手を自覚するのはいいことなので、今後も規律を守ったトレードを心がけてまいります。

現物ポジションについては一切手を付けていません。昨年末からと同様に現在に至るまで運用担当者が株式運用に時間を割くことが難しくなっているため放置されている状況です。インフレやリオープンといった目の前にあって今後も続きそうな大きな状況が変わってないので問題はないと考えています。また、ある程度の現金ポジションを維持したままにできているのもそれを助けています。

米国株式市場はインフレの鈍化と利上げの天井（ピボット）が引き続きテーマで、雇用など各種指標の強さから今のところ景気のハードランディングは避けられそうという状況からグロース株中心に強い展開となりました。米国株についてもポジションには一切手を付けていません。今となっては安いところで買い増しもしたかったという気になっていますが、ドル高の壁があったため現実的ではありませんでした。米国投資インフルエンサー界隈では「今年は債券が熱い！」みたいな向きもあるようですが、非米ドル圏投資家にとって今年は米国への投資で利益を出すのが難しそうな一年になりそうだな、という印象は変わっていません。やはり外貨投資は円転せずにひたすら複利であるべきという思いを改めて強めています。

1月なので2月期組と3月期組の3Q決算が出始めていますが、まだ見ていないので特にコメントできません。決算通過後の値動きだけみて大きく下がらければ「あぁ、問題ない内容だったのかな…」とスルーしています。完全に運用担当者失格ですが、当ファンドは私以外に運用担当者がいないので仕方ありません。来月には一通り出揃うので来月にはコメントできる、はずです。

ただまぁ一部見ている限りでは当初投資家が想定していたような景気の大きな腰折れは避けられそうな状況になりつつあるのではないかと思っています。今回は12月までの状況だけでまた資源価格やサービス価格が大きく上昇するようなことがあればわかりませんが、今のところ問題ないのではないかなと楽観しています。

2月相場は相場の格言通りの「節分天井」にならず堅調な値動きを期待しています。

**株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。**

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。